

嬉しいこといっぱい吉田まつり

校 長 武井 正明

吉田中学校区の会長として、今年初めて吉田まつりにお招きいただいた。

会場に急ぐ歩道橋の手前で声を掛けられた。

「先生、…俺は先生のことわかるんだけど…」

ずっとスリムで逞しくなったが、面影で直感した。フルネームがすぐ口から出た。

久しぶりだなあシュウジ…。巻東中時代、野球部の教え子だ。

「いくつになった？」「もう 38 だよ」「38 かあ…23 年振りだなあ…」

…背番号 20。誰よりも先にグラウンドに出てきてたっぷり水を撒いていた「縁の下の力持ち」そのシュウジが、もう 38 か…。あの頃は叱ってばかりで、全然褒めてやらなかったなあ。

それが今では結婚し、家を建て立派に家族を養っている。なんと北小の保護者だ。中学時代の彼の分も、息子を褒めてやりたいが、吉中に上がってくるまで、俺が頑張っているかなあ…。

一緒に歩いているとホッケー部だった彼とも再会だ。残念ながら名前は出てこなかったが顔は覚えている。「先生(髪)白くなったなあ…」「そりゃなるよ。歳取ったもん」

教え子の方から声を掛けてもらえる…。こんなに嬉しいことはない。吉田祭りでも、多くの吉中生から声を掛けてもらった。照れているだけで、本当はすごく嬉しいんです。

吉田まつりの迫力は想像をはるかに超えていた。爆発的なエネルギーに満ちている。

各町内、見応えのある踊りが披露され、9 台の山車が次々と練り歩く。

前夜祭ではカラーガード部とマーチングが華を添えた。26 日にはマジカルが切れ味鋭いダンスで圧倒した。そしてラストは「吉田一本締め」第 66 回吉田まつりが終わった。

帰途、ひとりの女性から声を掛けられた。

彼女は葵中時代の生徒、担任ではなかったので名前が思い出せなかった。でも顔は見覚えがある。確か吹部だったと思うんだけど、間違っているとなあ。

彼女とは 30 年振りだ。帰宅してすぐ 1995 年卒業アルバム広げる。いたいた、そのまんまじゃん。やっぱり吹部だ。ちょっと離れたところから見ていた恵さん…思い出すねえ。

前夜祭では、岩室中時代の教え子(彼女の名前も恵さん)と 1 年振りに再会。「ビジョン 1 万回ってすごいですね！」今日のもさっそく読んでくれたんだ。嬉しいなあ…。

卒業生のお父さんからも、お声掛けいただいた。「校長先生の学校だよりと校長 vision に、親子とも励まされました」と。第 1 志望に入れなかった君と 43 年前の自分が重なる。俺も 7 時間授業だったよ。いつか、立派に成長した君に会いたいなあ。それまで、すぐわかるように元気でいます。見つけたら、ぜひ声を掛けてくださいね。待ってるよ。